

令和 8 年度 通信教育実施計画

教科		科目	単位数	履修上の留意点	
地理歴史		歴史総合（後期）	2	必修科目で履修しないと世界史探究と日本史探究が受講できない。	
指導目標	・現在の世界にまでつながる歴史（過去）を知り、現在の世界や社会をよく理解する。 ・歴史を学び、過去の生きた人々やその出来事を知り、さまざまな出来事の間関係を考え、過去の人々の行動や出来事と現在の世界とのつながりを考える力を身につけさせる。				
教科書		副教材等		添削指導	面接指導
歴史総合（東京書籍）		各スクーリングで補助プリント配布		4 回	最低 2 時間
メディア視聴減免実施の有無		☒ 実施している		☐ 実施していない	
メディア減免 視聴メディア及び視聴日程			メディア減免報告課題提出締切		
NHKテレビ講座 歴史総合			10/30,11/30,12/23		
レポート（学習報告書）					
回	学習内容				提出期限
1	・18世紀のアジアとヨーロッパ、市民革命と近代社会、産業革命を学習し理解する。				佐・月 10/28 唐 10/21
2	・東アジアの国際関係の変化と日本の開国、アジア諸国家の変容、明治維新と東アジアの国際関係を学習し理解する。				佐・月 12/ 2 唐 11/25
3	・日清戦争と華夷秩序の解体、植民地支配の近代、20世紀の初めの社会を学習し理解する。				
4	・第一次世界大戦後の展開、国際協調体制の形成、ソヴィエトの成立、アメリカの台頭を学習し理解する。				佐・月 12/23 唐 12/17
5	・世界恐慌、国際協調体制の崩壊、第二次世界大戦の展開を学習し理解する。				佐・月 1/27 唐 1/ 6
6	・戦後恐慌、アジア太平洋戦争、日本の敗戦、冷戦下の日本とアジア、グローバル化と地域統合を学習し理解する。				

スクーリング（面接指導）		
月	学習内容	実施日
10	・18世紀のアジアとヨーロッパ、市民革命と近代社会、産業革命の内容と流れを学習し理解する。	佐賀 10/11 唐津 10/ 4 月曜 10/12
11	・東アジアの国際関係の変化と日本の開国、アジア諸国家の変容、明治維新と東アジアの国際関係の内容と流れを学習し理解する。 ・日清戦争と華夷秩序の解体、植民地支配の近代、20世紀の初めの社会を学習し理解する。	佐賀 11/15 唐津 11/ 8 月曜 11/16
12	・第一次世界大戦後の展開、国際協調体制の形成、ソヴィエトの成立、アメリカの台頭の内容と流れを学習し理解する。	佐賀 12/ 6 唐津 11/29 月曜 12/ 7
1	・世界恐慌、国際協調体制の崩壊、第二次世界大戦の展開の内容と流れを学習し理解する。 ・戦後恐慌、アジア太平洋戦争、日本の敗戦、冷戦下の日本とアジア、グローバル化と地域統合を学習し理解する。	佐賀 1/10 唐津 12/20 月曜 1/11
試験		
前・後期	試験範囲	実施日
後期	レポート第1回から第5回と関連する教科書の内容（該当ページ）から出題する。	佐賀 1/31 唐津 1/24 月曜 2/ 1
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準		
・成果はスクーリングへの意欲や受講態度、レポート、テストでおこない、3観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点ごとにA、B、Cで評価する。		
その他		
後期テスト終了、総合的に判断して単位が認定できない場合は追指導（課題）を実施し、その結果をみて単位認定か履修のみの判断をする予定です。		

※オプション

放送視聴		
回	学習内容	提出期限
1	18世紀のアジア、産業革命と世界経済の変化、近代国家と国民国家、帝国主義の時代	10月30日
2	第一次世界大戦と戦後の世界、ソ連の登場とアメリカの繁栄、国際協調体制の変容と瓦解	11月30日
3	第二次世界大戦と戦後秩序の形成、冷戦下の日本の政治と経済成虫、冷戦の終結、グローバル化とこれからの世界	12月23日